



横浜市立一本松小学校

1月号

# 学校だより

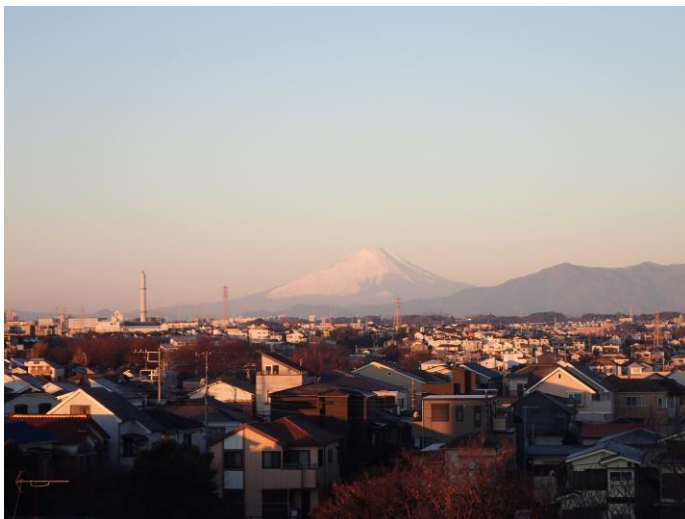
令和5年1月10日  
横浜市立一本松小学校  
校長 高桑 透

仲間と共に一戦に全てをかける

校長 高桑 透

新年あけましておめでとうございます。

右の写真は、元日に本校屋上から撮影した富士山です。初日の出を自分の学校の屋上から見るのは、教員時代からずっと続けている習慣です。横浜では、ちょうど日の出の方向と反対側に富士山が太陽の光に照らされる形で見えてきます。自分の職場で初日の出を拝むとともに、富士山の素敵な姿を見ることで、この1年もさらにより良い学校にしていこうという気持ちを強くすることができました。本年も引き続きご支援のほど、よろしくお願いいたします。



さて、年末年始にかけて、たくさんの学生スポーツが行われました。大学駅伝はもちろん、高校生のサッカー、ラグビー、バレーボール、バスケットボールなど、ほぼ毎日熱戦が行われました。テレビ中継をしていれば、ついつい時間を忘れて見入ってしまいます。なぜ、こんなにも引き付けられるのでしょうか。

学生スポーツには期限があります。中高生は3年生、大学生なら4年生で引退します。同じチームでずっと続けることはできません。したがって、最後の大会は、負けたら終わり、負けた瞬間に即引退です。だからこそ、**仲間と共にその一戦に全てをかける**情熱は計り知れないものがあります。1試合でも多くこの仲間と試合をしたい、同じ時間を過ごしたいという思いが一つになることで、普段以上の力を出したり、奇跡的なプレーを生み出したりするのだと思います。一瞬たりとも気を抜くことなく、仲間を信じてプレーし続ける姿や、負けたら引退という状況が、多くの感動を生んでいるのではないのでしょうか。私自身も、負けてしまったチームの選手にどうしても感情移入してしまいます。自分の引退試合を、もう何十年も前ですが、思い出します。

この「仲間と共にその一戦に全てをかける」ことができる力は、スポーツに限らず、社会生活すべてに通じると思います。身近な家族はもちろん、仕事でも、友人関係でも、そこにいる仲間と力を合わせることが、何よりも大切なことであると考えます。子どもたちには、誰とでも、どんな場面でも、仲間のために自分の力を惜しみなく発揮できる人に成長してくれることを期待しています。